

やっぱり水道水が心配？

調理にペットボトル水を使
って欲しいと保護者から要望

水筒を持たせる保護者

できる努力をされようとしている
努力に値するか？

水道水の基準を満足しているという説明では納得が得られない

安心できない＝信頼できない

不信の原因は？

不信の原因(その1)

検出限界が示されていない

基準値近くではないのか？

4月から基準が変わる

検出限界

母乳の検査のように示そう

不信の原因(その2)

井戸水で放射性セシウムが検出
水源が汚染？

不信の原因(その3)

水処理は完璧？

不信の原因(その4)

汚染廃棄物の保管施設からの
環境汚染

廃棄物処分場への不安

専門家の測定で管理できる
処理場の安全確保のイメージ共有
運営主体
設備

不信の原因(その5)

井戸水での放射性セシウム以外の
放射性核種の検出

<http://www.city.kawasaki.jp/80/80syomu/home/urgency/housyafaq_20110407_2.html#q16>、

保育現場での様々な問題

国が基準を決めれば問題解決？

専門家が安心できると断言すれば
問題は解決？

基準を示すだけでは
うまくいかないことが

そもそも信頼関係がないと
基準を示しても信じられない

抑圧していないか？

自分たちの思いが大切にされていると
感じられるかどうか？

自分なりの判断が尊重されているか？

リスク・コミュニケーションは？

保育園長の負担を減らすアプローチ
専門家巻き込み

科学的な知見は？

低線量被ばくのリスク管理に関する
ワーキンググループ報告書

あなた自身が納得できていますか？

危ないの？危なくないの？

できる工夫は否定されていない
工夫に意味があるか？

安全とは？

リスクが小さいこと

リスクが小さくても
工夫する余地はある
すごく小さいリスクは無視できる

子供に水筒を持たせる保護者

保育園の活動方針に不信を持つ

行政の方針にあなたは
納得していますか？

同じような課題

外遊びの時間の制限
自然とのふれあいの制限

調理のペットボトル水を使う？

保育園と保護者で決めるしかないが
ジレンマそのものがストレス

ジレンマを軽減する

水道水を使うとしても
ペットボトル水を使うとしても
その他の解決策をとるにしても

納得できる判断のための具体策は？

- リスクの程度を理解
 - ペットボトル水利用で増える線量は？
 - ペットボトル水利用で減る線量は？
 - どちらが大きい科学的に明らかにする
- リスク低減の工夫の余地は？
 - アイデアを集める
 - よいアイデアの実現に向けての道を探る

ミネラル水で線量が増える？

ややこしいがほとんどどうでもよいお話
WHOラドンハンドブック

井戸水のラドン濃度が高かった場合の対策

<http://www.niph.go.jp/soshiki/seikatsu/radon/index.html>

何かアイデアはありますか？

専門家を活用するには？

専門家は信じられない？

意見がばらばら

ひとりの専門家だけの
意見を参考にしない

むしろ正しいデータを出してもらう

専門分野は幅広い

自然科学から社会科学

保育園で困っていることは？

ニーズは表出されていますか？

専門家側はサンプリング装置を
用意して待っている

データが欲しいという観点では、
現場と専門家の利害は一致
専門家は貢献したがつている

住民からの要望が 自治体から伝えられた例

福島県内には水道ではなく、
絞り水や表層水を水源としている
私的な飲料水設備がある

濃度測定結果の例

放射性セシウム

1Bq/l程度

(天候にも依存しそう)

一日の摂取量

2Bq/d程度？

WBCの結果からは1/5程度が
飲料水由来と推定

内部被ばく低減のために
何らかの介入をすべき？

あなたは、
どう考えるのがよいと思いますか？

給食の食材選びと同じ構造

活動例の紹介

模索されている
福島県内での子育て支援

国で整備すべき ガイドラインは？

低線量被ばくのリスク管理に関する
ワーキンググループ報告書
を補うために何が必要か？

保健師との連携は？